

・不誠実対応-25

アルプスの森(施設長:宇津慎史)の落ち度で悠生君が行方不明になっている状況にも関わらず、悠生君の捜索に総力をあげて対応することはなかった。事実、悠生君が行方不明の状態にも関わらず、施設は通常通りに開所を続けていた。

また捜索活動に十分な対応をしなかったため、捜索において何が重要な情報であったかを理解していない。そのためアルプスの森(施設長:宇津慎史)からの説明はポイントがずれた状態で的をえていない。さらにはポイントが解らないまま、自己都合に合わせ事故報告書を作成している。そのため多くの虚偽・捏造が認められる。

今に至るまで、アルプスの森(施設長:宇津慎史)側の職員は誰一人、悠生君に会いに来ていない。線香の1本もあげてない。

死亡事故を起こしてもまともな説明会をせず、事故の詳細を公表もしていない。

アルプスの森(施設長:宇津慎史)が如何に真摯にこの事故に向き合ってきたかが解る。

(会話の大まかな内容) (音声ファイル-25) [0:00:00]⇒[0:05:22])

・悠生君の母親(清水亜佳里)

子供が居なくなってまだ見つかってもない状態。それはアルプスの森(施設長:宇津慎史)の落ち度。それにも関わらず、川のところにもいかず、捜索もしないで開所しているのが社会的には理解を得られないのではないかと多くの人数で対応しなくてはいけなかったのではないかと。一旦、施設運営をとめて皆で探そうとすることが必要だったのではないかと。

・児童発達支援管理責任者(宇津雅美) [0:00:20]

私は毎日捜索に行っていました。

・悠生君の母親(清水亜佳里) [0:00:27]

あんな川ね。すごく長くて大きい。どんどんどん海にまで繋がっているのにね。もっと人数が居ると違いますか？

だからそれ(開所)を一旦とめて、皆で探そうという風に判断ができないんですよ。

ここのトップの方は？

・児童発達支援管理責任者(宇津雅美) [0:00:43]

開所しているのに全員が(川に)行ったら誰が開所に対応するのだ？との内容を発言

・悠生君の母親(清水亜佳里) [0:00:46]

だから開所がおかしいと指摘。

・ 児童発達支援管理責任者(宇津雅美) [0:00:49]

それはお母さん(清水亜佳里)の考えです。

・ 悠生君の母親 (清水亜佳里) [0:00:46]

行方不明なのだから。見つかっているのならまだしも、

・ 悠生君の父親 (清水悠路) [0:00:57]

宇津さんとしては子供を見つけるよりも開所する方が重要と考えたのでしょうか？

・ 児童発達支援管理責任者(宇津雅美) [0:01:04]

そんな事、一言も言っていません。(ふてぶてしい口調)

・ 悠生君の父親 (清水悠路) [0:01:09]

私達は開所するよりも、行方不明の方に対応するのが重要じゃないの？って言ったら、それはあなた方の考えでしょ？っていうはなしですよ？

・ 児童発達支援管理責任者(宇津雅美) [0:01:18]

そんな事も言っていません。(ふてぶてしい口調)

・ 悠生君の父親 (清水悠路) [0:01:22]

でも、開所は続けるのは重要だと思われたのですよね。

・ 児童発達支援管理責任者(宇津雅美) [0:01:26]

そんな事も言っていません。(ふてぶてしい口調)

・ 悠生君の父親 (清水悠路) [0:01:31]

優先かどうかは別として、何故開所を続けたのです。

それは続けるのは重要だと思われたのですよね。

・ 児童発達支援管理責任者(宇津雅美) [0:01:38]

子供を見つける行為もしましたし、ここを利用したいと言うお母さん方の希望もあったので、両方を選択しました。

・ 悠生君の母親 (清水亜佳里) [0:01 : 45]

両方なんてありえない。こんな最悪な状況になって。もっと必死でやらなくてはいけなかったのではないか？ それは、私は凄く不満だった。遺体にも会いに来ていない。

・悠生君の父親（清水悠路） [0:03:21]

今後、明らかになって行くと思っているんですが、実際にアルプスの森(施設長:宇津慎史)が、悠生君の搜索活動にまともに対応していなかったため、どのような情報が搜索活動で重要だったのかが全く分かってない。その状態で事故報告書・回答書を作成しているからおかしなところがある。

・悠生君の母親（清水亜佳里） [0:03:50]

搜索活動時、最も情報を持っていたのは私達です。

・悠生君の父親（清水悠路） [0:04:14]

だからこそ事故報告書は、既に出している情報に肉付けするだけで終わると思っていた。しかしながら、実際に回答書で返ってきたものを見るとキーポイントが完全にズレてしまっている。違う捏造がいっぱい出てきてしまっている。まあ～今後はっきりしていきますが…、

・悠生君の母親（清水亜佳里） [0:04:35]

これは(保護者会での説明)は遅すぎたただのパフォーマンス。公にもなっていないので、説明会にもなっていない。死亡事故を起こしてもまともな説明会をせず、事故の詳細を公表もせず。そうしたら世間はなにか疚しい事があって隠していると世間はみる。

アルプスの森(施設長:宇津慎史)側の職員は、亡くなった子に、まだ一度も会いに来ていない。手も合わせていない。線香の一本もあげていない。

(上記会話における問題点)

***行方不明時における開所に関し矛盾した説明をしている。**

・悠生君の搜索にもっと人数を導入する必要があったことを清水亜佳里が指摘。

・一方宇津雅美は、開所しているのに人数が割くことできないと説明 [0:0043]。

・それに対し、だから行方不明の状態が開所している事自体がおかしい(清水亜佳里 [0:00:46])と指摘したところ、それはお母さんの考えだと発言(宇津雅美[0:0049])。

→この時点では、少なくとも宇津雅美は、行方不明児童の搜索を開所に優先すべきという考えを否定している。

・そこで確認の為、清水悠路が、私たちは開所するよりも、行方不明の方の対応が重要だと思っていたけど、それはアルプスの森(施設長:宇津慎史)からすると、その考え方はあくまでも遺族側の考えだと考えているのかと確認 [0:01:09]

・そんな事も言っていない。(ふてぶてしい口調で宇津雅美が発言)。[0:01:18]
→この時点で少なくとも宇津雅美は、行方不明児童の搜索を開所に優先すべきという考えを否定はしていない。

・でも開所は続けるのは重要だと思われたのですよねと清水悠路が確認。[0:01:22]
・そんな事も言っていない。(ふてぶてしい口調で宇津雅美が発言) [0:01:31]
・行方不明児童の搜索と開所の両方を選択したと宇津雅美が発言 [0:01:38]
→この時点で少なくとも宇津雅美は、行方不明児童の搜索は開所に優先するものとは考えていない事を意味する。

従って、宇津雅美がふてぶてしい口調で、自己矛盾した発言を行っている事が解る。

***施設の落ち度で悠生君は行方不明になっているにも関わらず、悠生君の搜索に真摯に対応しなかった。実際、開所を続けており、その為、搜索活動に十分な人数を充てる事が出来なかったことを児童発達支援管理責任者(宇津雅美)は認めている。**

児童発達支援管理責任者(宇津雅美)は、悠生君の搜索活動と開所の優先性の言及において事故矛盾した発言を行っているが、実際にアルプスの森(施設長:宇津慎史)がとった行動からすると、搜索活動に集中する事に関しては重要と考えておらず、搜索活動も開所もどちらも選んでいる。

この時点で自分たち(アルプスの森[施設長:宇津慎史])が安全対策を守らなかった事で起こした行方不明の状態の悠生君の搜索活動に集中する事を放棄していることを意味する。

また悠生君の母親(清水亜佳里)の母親が、施設の落ち度で子供が行方不明になっている状態で、子供を探すことに全力を注ぐのは当たり前だと説明も、児童発達支援管理責任者(宇津雅美)は、それはお母さんの考えであって、一般的ではないと言うニュアンスの回答をしている。

さらには搜索活動にまともに参加していなかった為、搜索活動においてどのような情報が大切であったかをアルプスの森(施設長:宇津慎史)は全く解っていない。そのため。この重要なポイントが解らない状態で作成した事故報告書や回答者はポイントがズレてる。このポイントがズレた状態で書いた事故報告書や回答書には、かなり多くの捏造がみられると遺族は思っている。

また、(不誠実対応⑦)において説明しているが、行方不明であった悠生君が見つかった日、遺族は昼間の電話において、児童発達支援管理責任者(宇津雅美)に悠生君との面談が可能になる時間に遺族側から電話をかける事を説明していた。

しかし実際に電話をかけたところ、代表者(宇津慎史)が電話に出てきて、児童発達支援管

理責任者（宇津雅美）は別件で忙しいため電話に出ることはできないし、警察署にも行けないと説明してきた。

遺族としては、この別件の存在自体が捏造であると考えてはいるが、もしこの別件が本当に存在したのであれば、それは明らかに悠生君の捜索活動に全力を注がず、開所を続けたことによる弊害である。

このような弊害が、非常に大切なタイミングで起こるような状態に陥る可能性を放置していた事も重大なるアルプスの森(施設長：宇津慎史)の落ち度である。

さらには、アルプスの森(施設長:宇津慎史)側の職員は悠生君に、まだ一度も会いに来ていない。手も合わせていない。線香の一本もあげていない。悠生君に対して誠意を見せる事は何もしていない。

如何にこの悠生君が命を落とした事故に対し、アルプスの森(施設長:宇津慎史)側が真面目に取り組んで来なかったのかが解る。